

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	岸和田市公共下水道整備計画												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	岸和田市												
計画の目標	公共水域の水質保全を図り、快適で活力ある暮らしの実現に向け、総合的な下水道事業の継続を進め、安心安全な市民生活の確保を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,637	A	1,637	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道処理人口普及率を93.2%(H27)から93.7%(H31)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道処理区域人口(人)/行政人口(200,730人)	93%	94%	94%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
【定量的指標】(H27当初)93.2%、(H29末)93.5%、(H31末)93.7%												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠(汚水)	新設	流域関連公共下水道 汚水管渠整備事業	汚水管 200~1500 L=1 5,000m 計画策定	岸和田市						1,637	-	
											小計						1,637		
											合計						1,637		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業担当課において数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その検証結果を基に今後の方針を検討するとともに、その評価に透明性、客観性、公正さを反映させるため、学識経験者等を有する第三者による運営審議会に意見を求めた。

事後評価の実施時期

令和4年2月

公表の方法

岸和田市のホームページ上で公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

汚水管整備により下水道処理人口普及率が2.6ポイント増加し、生活環境の改善及び水質保全を図ることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

汚水管整備により令和元年度末の整備済面積は平成27年度比より52ha増となり2,832haになった。

特記事項（今後の方針等）

今後も、公共水域の水質保全を図り、総合的な下水道事業の継続を進め、安全安心な市民生活の確保を図っていきます。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	94%
	最終実績値	96%
		順調な事業の進捗であった。